

オンライン証券における圧倒的優位性

イー・トレード証券は、口座数70万口座を突破

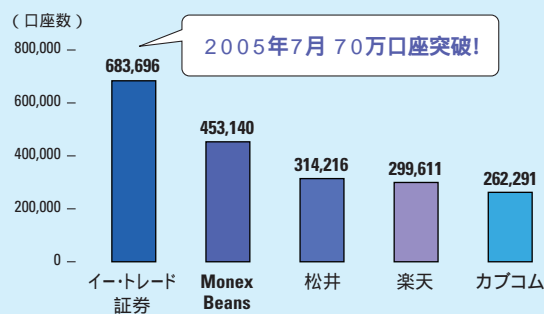
ブローカレッジ&インベストメントバンキング事業の主要企業

イー・トレード証券(株)	JASDAQ上場(Code No. 8701):オンライン総合証券
SBI証券(株)	大証ヘラクレス上場(Code No. 8696):証券業
イー・コモディティ(株)	オンライン商品先物取引
E*TRADE KOREA CO., LTD.	韓国におけるオンライン証券業

証券業界におけるポジショニング

イー・トレード証券の口座数は、2005年7月にオンライン専業証券で初めて顧客口座数70万口座を突破し、預かり資産の総額も、8月末現在で2兆7,395億円と、それぞれオンライン証券会社で圧倒的なトップになっています。また、SBI証券を加えると、SBIグループの証券分野は、2005年6月末現在、878,505口座、預かり資産3兆3,207億円に達しています。この数字は、国内証券業界の他社と比較すると証券総合口座数のランキングで、野村証券、大和証券グループ、日興証券グループ、新光証券について第5位、預かり資産のランキングでは、第11位になっています。

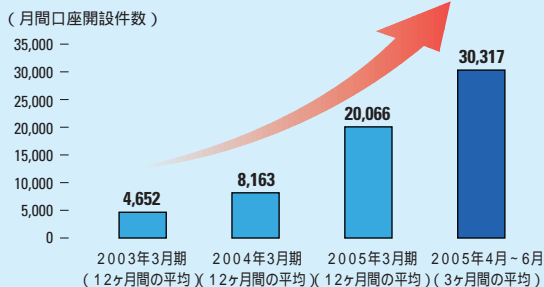
主要オンライン証券の口座数比較



月間口座開設件数が加速度的に増加

イー・トレード証券の口座開設件数は、2003年3月期には、月平均4,652口座であったのが、2004年3月期には8,163口座、2005年3月期には、20,066口座となり、2005年3月には過去最高の33,968件を獲得しました。また、2005年4月以降も高水準で推移しており、2005年4月から6月の平均で30,317件とさらに口座の増加ペースが加速し、オンライン証券各社との差をますます広げています。

イー・トレード証券の月間口座開設件数推移

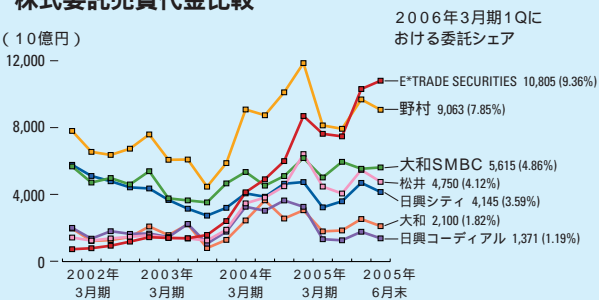


株式委託売買代金比較

イー・トレード証券は、2005年1~3月期における株式委託売買代金(機関投資家や外国人からの委託を含む)で野村証券を抜き全証券会社中No.1となりました。さらに同年4~6月期には他の証券会社が取引量を減らす中、引き続き取引量を増加させ、2位との差をさらに広げています。また、株式委託売買代金のうち、個人投資家に限定した場合のシェアが、2005年4~6月期において24.8%になるなど、個人投資家の皆様から圧倒的な支持をいただいています。

また、イー・トレード証券の2005年8月の国内株式の月間株式売買代金は、5兆円を超え、1日平均売買代金が2,400億円を超える過去最大の取扱額となりました。

イー・トレード証券と主要証券会社との株式委託売買代金比較



出所：証券会社各社・東証の公表数値をもとに当社作成
(単位：10億円、括弧内各社委託売買代金を3市場委託で除したシェア)

海外株式の取り扱い

イー・トレード証券では、2003年6月に開始した米国株取引に加え、2005年3月に香港・中国株、2005年5月に韓国株の取引を開始しました。インターネットの特性を生かしたリアルタイム取引を実現するために、米国株式の取次ぎにあたっては米国E*TRADE、香港・中国株の取次ぎにあたっては香港Kingswayと提携しています。また、韓国とのクロスボーダー取引にあたっては、2005年3月に子会社化したE*TRADE KOREAと提携しています。

イー・トレード証券のIPO引受実績

2005年3月期のイー・トレード証券の新規株式公開の取扱実績は87件で、累計で236社（うち幹事指名は29社）になりました。また、2005年4月から6月の引受社数は、26社となり、新規IPO40社に対する関与率は、65%と全証券会社中、第1位になりました。また、9月15日に名古屋証券取引所セントレックス市場へ上場した株式会社アークコアを最初の案件として、引受主幹事業務も開始しました。

海外株式の取扱開始へ

- ・既に開始している米国株取引、中国株（香港）取引に加え、2005年5月下旬より韓国株取引を開始。
- ・2005年10月には韓国投資家に日本株を購入できる機会を提供する。
- ・韓国株式市場上場44銘柄より開始。

魅力的な商品・サービスで、投資家の裾野を広げていきます

イー・トレード証券は、オンライン専門証券で初めて顧客口座数70万口座を突破しました。また、信用口座についても7万口座を超え、証券総合口座ともに業界でのシェアを拡大しています。

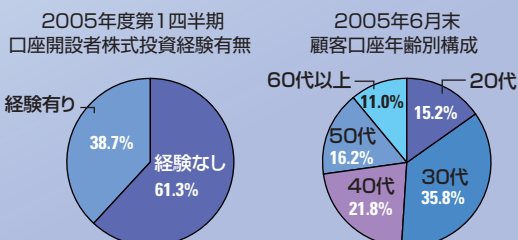
1999年のオンライン取引開始以降、顧客中心主義を経営理念として、業界最高水準のサービスを業界最低水準の手数料で提供してまいりました。この取り組みが多くの投資家の皆様からご支持いただき、このたびの顧客口座数70万口座の達成につながったと考えています。また、顧客口座数に加え、預かり資産残高および売買代金においても引き続きオンライン証券トップの地位を維持しています。

2006年3月期第1四半期（2005年4月～2005年6月）においては、月間約3万人のお客様が当社に新しく口座を開設され、2005年6月の60万口座獲得以降、過去最短となる約100日間で10万口座獲得となりました。これは、当社前年同期比約1.8倍、また同業他社比2倍を超える水準となります。また、これまで当社のお客様は30代・40代の方が中心でしたが、2005年度から、20

代の方の口座開設が拡大するとともに、50代・60代の方の口座開設も進んでいます。特に最近では女性の口座開設、株式投資未経験者の方の口座開設が進み、後者においては新規口座の6割を超えるなど投資家の裾野も拡大しています。

引き続きお客様の幅広いニーズにお応えしながら、魅力ある手数料体系や商品・サービスの提供、初心者向けの投資コンテンツの拡充、ウェブサイトの機能向上などの取り組みを通じて、より多くの新しい投資家が証券市場へ参加できる投資環境の構築に努めていきたいと考えています。

イー・トレード証券 新たな顧客層の獲得



イー・トレード証券（株） 取締役執行役員社長
井土太良